



平成18年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成18年 2月10日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ

(コード番号: 5955 大証第2部)

(URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

谷川 満

TEL (075) 591-2131

責任者役職・氏名 総合企画部長

秋山 由光

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無: 無

2. 平成18年3月期第3四半期業績の概況(平成17年4月1日~平成17年12月31日)

(1) 売上高

	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	3,630	9.3
平成17年3月期第3四半期	3,321	△6.6
(参考)平成17年3月期	4,287	

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
 3. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を表示しております。
 4. 当該第3四半期より三陽工業(株)を連結子会社といたしました。
 5. 前連結会計年度で重要性の観点から除外しました子会社のツワイス(株)、OTS Travel Service Inc. は平成17年3月期第3四半期時点では除外されていません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期における我が国経済は、原油価格の高騰という影響をうけながらも、企業収益の改善や個人消費の好転等本格的な景気回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況のもと、当グループはコア事業であるねじの営業力強化と高加工度製品へのシフトを図りながら、新規事業として防雷事業、電線・ケーブル事業に取り組み、多角化を進めてまいりました。その結果、売上高は、36億3千万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成17年12月19日付けで三井物産株式会社より三陽工業株式会社の株式全部を譲受け、連結子会社としております。

(3) 継続企業の前提に関する注記に係る経過

当グループは、継続的に当期純損失の計上及び営業キャッシュ・フローがマイナスとなっております。この状況を解消すべく、過去の経営体制の問題点を改善し、新たに平成20年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、この計画の達成により継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる状況の解消に努めてまいります。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

[業績予想について]

第3四半期の売上高は平成18年1月17日に発表した業績予想に対し、ほぼ予想通り推移しており、通期の業績予想の変更はありません。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上